

ユーザ ガイド

1506、1706、および1906 LCDモニタ

製品番号 : 389521-292

2005年10月

このガイドでは、モニタのセットアップ、ドライバのインストール、オンスクリーンディスプレイメニューの使用法、トラブルの解決方法、およびモニタの仕様について説明します。

© 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

HP、Hewlett Packard、およびHewlett-Packardロゴは、米国Hewlett-Packard Companyの米国およびその他の国における商標です。

CompaqおよびCompaqロゴは、米国Hewlett-Packard Development Company, L.P.の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、およびWindowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、現状有姿のままで提供されるもので、商品性または特定目的への適合性に関する黙示の保証などを含むいかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett-Packard製品に対する保証は、当該製品に付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。**本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。**

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Companyの書面による承諾なしに複製、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ユーザガイド
1506、1706、および1906 LCDモニタ
改訂第1版 2005年10月
初版 2005年9月
製品番号：389521-292

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

1	製品の特長	
2	安全および保守に関するガイドライン	
	安全に関する重要な情報	2-1
	保守に関するガイドライン	2-2
	モニタの清掃	2-3
	モニタの運搬	2-3
3	モニタのセットアップ	
	モニタ台の取り付け	3-1
	モニタの接続	3-3
	モニタ台の取り外し	3-5
	モニタの取り付け	3-7
	製品ラベルの位置	3-8
4	モニタの操作	
	ソフトウェアおよびユーティリティ	4-1
	情報ファイル	4-1
	Image Color Matchingファイル	4-2
	.INFおよび.ICMファイルのインストール	4-2
	CDからのインストール	4-2
	Webサイトからのダウンロード	4-3
	フロントパネルの各部	4-4
	モニタの設定の調整	4-5
	オンスクリーンディスプレイの使用	4-6
	画質の調節	4-9
	デジタルコンバージョンの最適化	4-10
	モニタの状態の確認	4-11
	スリープタイマモード	4-11
	HP Display LiteSaver (一部のモデルのみ)	4-13
	HP Display LiteSaverソフトウェアのインストール	4-13

sRGBのサポート（一部のモデルのみ）	4-15
色温度の変更	4-16
Microsoft Windows 2000およびWindows XPへの sRGB ICMファイルのインストール	4-16
A トラブルシューティング	
一般的なトラブルの解決方法	A-1
インターネットWebサイト	A-4
お問い合わせになる前に	A-4
B 技術仕様	
プリセット ディスプレイ解像度について	B-5
ユーザ モードの使用	B-6
エナジー セーブ機能	B-7
C 規定に関するご注意	
各国別勧告	C-1
Federal Communications Commission Notice	C-1
Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo (United States Only)	C-2
有害物質の廃棄	C-3
Canadian Notice	C-3
Avis Canadien	C-3
European Union Regulatory Notice	C-3
Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union	C-4
Korean Notice	C-4
国際エネルギー スター プログラム	C-4
電源コードの要件	C-5
日本国内での電源コードの要件	C-5
D LCDモニタの品質およびピクセルに関する方針	

製品の特長

このフラット パネル モニタでは、アクティブ マトリクス方式の薄膜トランジスタ (TFT) 液晶ディスプレイ (LCD) を採用しています。このモニタの特長は以下のとおりです。

1506モデル

- 表示領域15インチ (対角長38.1cm) のディスプレイ
- 1024×768の解像度以下でフルスクリーンサポート
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 画面の上下の向きを調整可能
- 設置場所に依じて取り外しができるモニタ台およびVESA基準の7.5 cm間隔の取り付け穴
- プラグアンドプレイ機能 (システムでサポートされる場合)
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、画面表示 (オンスクリーンメニュー) による画面調節機能 (英語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、簡体字中国語、スペイン語)
- 情報ファイル (INF)、Image Color Matchingファイル (ICM)、および製品のマニュアルが含まれるソフトウェアおよびドキュメンテーションのCD
- 国際エネルギー スター プログラム (Energy Star) に準拠したエナジーセーブ機能
- セキュリティ ロック スロット
- 資産管理

- 以下の規定に準拠
 - 国際エネルギー スター プログラム (EPA Energy Star)
 - European Union CE Directives
 - Swedish MPR II 1990
 - Swedish TCO

1706モデル

- 表示領域17インチ (対角長43.2 cm) のディスプレイ
- 1280×1024のネイティブ解像度以下でフルスクリーンサポート
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 画面の上下の向きを調整可能
- 設置場所に応じて取り外しができるモニタ台およびVESA基準の10 cm間隔の取り付け穴
- プラグアンドプレイ機能 (システムでサポートされる場合)
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、画面表示 (オンスクリーンメニュー) による画面調節機能 (英語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、簡体字中国語、スペイン語)
- 情報ファイル (INF)、Image Color Matchingファイル (ICM)、および製品のマニュアルが含まれるソフトウェアおよびドキュメンテーションのCD
- 国際エネルギー スター プログラム (Energy Star) に準拠したエナジーセーブ機能
- 資産管理 (一部のモデルのみ)
- 外部ステレオ スピーカ (一部のモデルのみ)
- 以下の規定に準拠
 - 国際エネルギー スター プログラム (EPA Energy Star)
 - European Union CE Directives

- Swedish MPR II 1990
- Swedish TCO

1906モデル

- 表示領域19インチ（対角長48.3 cm）のディスプレイ
- 1280×1024のネイティブ解像度以下でフルスクリーンサポート
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 画面の上下の向きを調整可能
- 設置場所に応じて取り外しができるモニタ台およびVESA基準の10 cm間隔の取り付け穴
- プラグアンドプレイ機能（システムでサポートされる場合）
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、画面表示（オンスクリーンメニュー）による画面調節機能（英語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、簡体字中国語、スペイン語）
- 情報ファイル（INF）、Image Color Matchingファイル（ICM）、および製品のマニュアルが含まれるソフトウェアおよびドキュメンテーションのCD
- 国際エネルギー スター プログラム（Energy Star）に準拠したエナジーセーブ機能
- 資産管理（一部のモデルのみ）
- 外部ステレオ スピーカ（一部のモデルのみ）
- 以下の規定に準拠
 - 国際エネルギー スター プログラム（EPA Energy Star）
 - European Union CE Directives
 - Swedish MPR II 1990
 - Swedish TCO

安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報

お使いのモニターには電源コードが付属しています。別のコードを使用する場合は、適切な電源および接続先のみを使用してください。モニターに接続する適切な電源コードについては、付録Cの「電源コードの要件」を参照してください。



警告：感電や装置の損傷を防止するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。電源コードは、モニターの近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに差し込んでください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。



警告：安全のために、電源コードは、モニターの近くの手が届きやすい場所にあるコンセントに差し込んでください。モニターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。コードを引っ張って抜かないでください。



注意：モニターおよびコンピュータの保護のために、コンピュータおよび周辺装置（モニター、プリンタ、スキャナなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。すべてのマルチソケットがサージに対応しているわけではありません。サージ防止機能のあるマルチソケットをお使いになることをおすすめします。

保守に関するガイドライン

モニタの性能を向上させ長く使い続けるために、以下のガイドラインに従ってください。

- モニタのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このマニュアルに記載されている調整機能のみ使用してください。正常に動作しない場合や、モニタを落としたり破損したりした場合には、HPのサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニタ裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPSまたはA）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニタは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っ張って抜かないでください。
- モニタを使用していないときには、モニタの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバプログラムを使用したり、モニタを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニタを長くお使いいただけます。
- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニタを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニタは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。
- モニタ台を取り外すときは、モニタの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所にフロントパネルを下にして置いてください。

モニタの清掃

1. モニタとコンピュータ本体の電源を切ります。
2. モニタの電源コードをコンセントから外します。
3. モニタのプラスチック部分を、軽く湿らせた清潔な布で拭きます。
4. モニタの画面を、静電気防止用の市販のクリーナーで清掃します。



注意：ベンジン、シンナー、アンモニアなどの揮発性の溶剤を使ってモニタや画面を拭かないでください。このような化学薬品を使うと、キャビネット表面や画面が損傷することがあります。

モニタの運搬

モニタを運搬する場合は、モニタ出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の材料を使用してしっかり梱包してください。

モニタのセットアップ

モニタをセットアップするには、モニタ、コンピュータ システム、およびコンピュータに接続されているその他の装置の電源が切られていることを確認してから、以下の手順で操作します。

モニタ台の取り付け

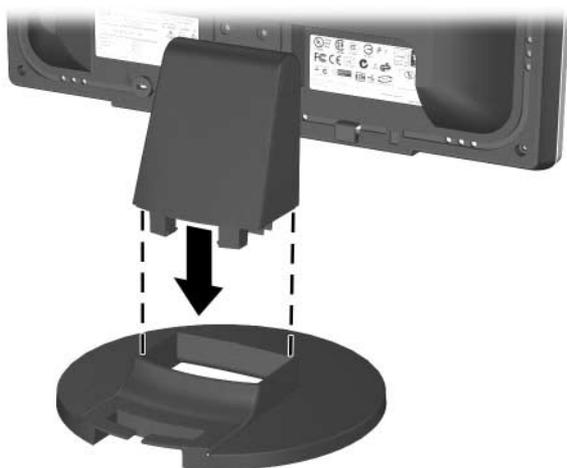
モニタ台を取り付けるには、以下の手順で操作します。

1. 台を机やテーブルなどの上に置き、台の裏にある矢印が手前を向いていることを確認します。



モニタを壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付ける場合は、モニタ台を取り付けずに、この章の「モニタの取り付け」を参照してください。

2. 両手を使ってモニタをモニタ台の上で持ち、しっかりと押し下げて台を所定の位置に固定します。台が固定されるとカチッという音がします。セットアップを続ける前に、モニタ台がしっかりと固定されていることを確認します。



モニタ台へのモニタの取り付け

モニターの接続

1. モニタを、作業がしやすく通気の良い、コンピュータの近くの場合に置きます。
2. モニタの背面にあるモニタのビデオ（信号）ケーブルをコンピュータのリアパネルのビデオコネクタに接続します。



警告：感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。
- 電源コードは、モニタの近くの手が届きやすい場所にある AC コンセントに接続してください。
- モニタへの外部電源の供給を遮断するには、電源コードを AC コンセントから抜いてください。
- 電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っ張らないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。

3. 電源ケーブルの一方の端をモニターの背面に接続し、もう一方の端をACコンセントに接続します。



ビデオ ケーブルおよび電源ケーブルの接続

4. 必要に応じて、使いやすい角度にモニターの上下の向きを調節します。



モニターの向きの調節

5. 電源スイッチを押してモニタの電源を入れます。



注意：モニタに長時間一定の画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニタ画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニタを使用しないときはモニタの電源を切ります。残像はすべてのLCD画面で発生する可能性があります、一定の時間が経過すると自然に消えます。

モニタ台の取り外し

モニタを壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けるために、モニタ台を取り外すことができます。取り外しを行う前に、以下の注意をお読みください。

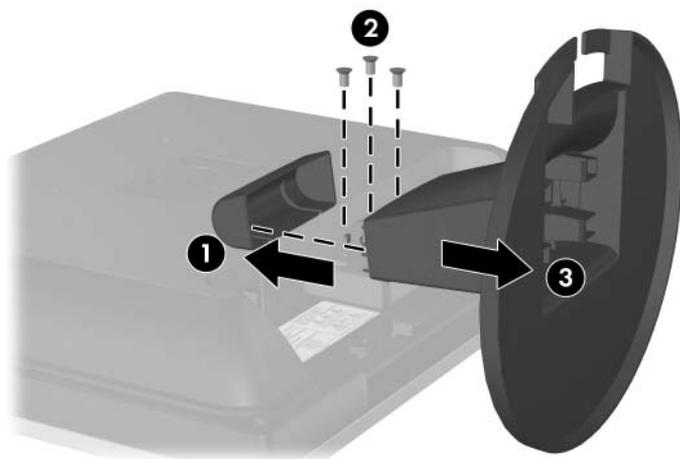


注意：モニタの取り外し作業を始める前に、モニタの電源が切られていること、および電源ケーブルとビデオケーブルを取り外してあることを確認してください。モニタにオーディオケーブルが接続されている場合は取り外します。



注意：モニタを立てた状態で台をモニタから取り外さないでください。モニタの表面を傷をつけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所にフロントパネルを下にして置いてください。

1. モニタの背面からビデオ ケーブルおよび電源ケーブルを取り外します。
2. キャップをモニタ台の支柱の上部から取り外します①。
3. 下の図に示すように、3本のネジ②を取り外します。



モニタ台の取り外し



注意：モニタから台を取り外す前に、台の底部が作業台の外に出ていないことを確認してください。

4. モニタから台を取り外します③。

モニターの取り付け

1. モニタ台を取り外します。この章の「モニタ台の取り外し」を参照してください。

モニタから台を取り外すと、モニタの背面に固定器具への取り付けに使用する4つの穴があることがわかります。これらの穴は10 cm間隔で配置されており、VESA (Video Electronics Standard Association) が定めるフラットパネルディスプレイの設置規準に準拠しています。

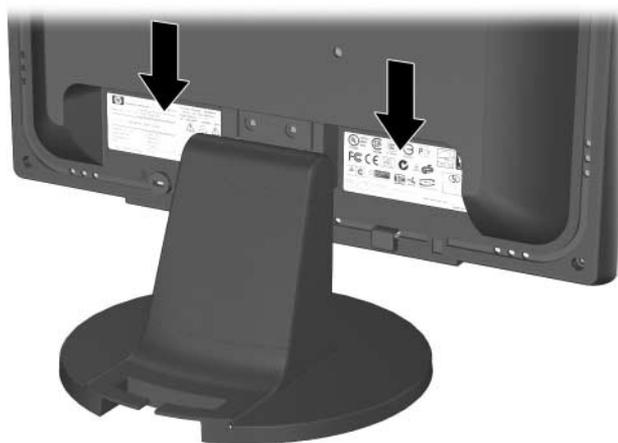


注意：このモニターは、VESA準拠の10 cm間隔の取り付け穴をサポートします。このモニターに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7ピッチのネジ穴が4個ある器具で、長さ10 mmのネジ（モニターに付属していません）を使用する必要があります。これより長いネジは、モニターを損傷する恐れがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具がVESA基準に準拠していることと、モニターのディスプレイパネルの重量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオケーブルを使用してください。

2. 使用する固定器具に付属の説明書を参照して、モニターをスイングアームやその他の固定器具に取り付けます。

製品ラベルの位置

モニタの製品ラベルには交換部品番号、製品番号、およびシリアル番号が記載されています。お使いのモデルのモニタについてHPにお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。製品ラベルはモニタ台の左右両側に位置しています。



モニタの操作

ソフトウェアおよびユーティリティ

モニタには、コンピュータにインストール可能な以下の2つのファイルが収録されたCDが付属しています。

- .INF（情報）ファイル
- .ICM（Image Color Matching）ファイル

Adobe® ReaderはこのCDに収録されており、メニューからインストールできます。



モニタにCDが付属していない場合は、.INFおよび.ICMファイルをHPモニタ サポートWebサイトからダウンロードすることができます。この章の「Webサイトからのダウンロード」を参照してください。

情報ファイル

.INFファイルは、モニタとお使いのコンピュータのグラフィックスアダプタとの互換性を確保するために、Microsoft® Windows®オペレーティングシステムが使用するモニタ リソースを定義します。

このモニタはWindowsプラグアンドプレイ機能に対応しており、.INFファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニタのプラグアンドプレイ機能を利用するには、コンピュータのグラフィックカードがVESA DDC2に準拠しており、モニタが直接グラフィックカードに接続されている必要があります。BNC分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。プラグアンドプレイ機能の利用条件を満たしていない場合は、.INFファイルをインストールする必要があります。

Image Color Matchingファイル

.ICMファイルはグラフィックスプログラムとともに使用されるデータファイルで、モニタとプリンタ間またはスキャナとモニタ間の色調を調整します。このファイルにはモニタのカラーシステムプロファイルが含まれており、プロファイルをサポートするグラフィックスプログラムの実行時に有効になります。



.ICMのカラープロファイルは、ICC (International Color Consortium) のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。

.INFおよび.ICMファイルのインストール

.INFおよび.ICMファイルを更新する必要がある場合は、これらのファイルをCDからインストールするか、Webサイトからダウンロードできます。

CDからのインストール

.INFおよび.ICMファイルをCDからコンピュータにインストールするには、以下の手順で操作します。

1. CDをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。CDメニューが表示されます。

2. [INF and ICM Readme] (INFおよびICMのReadme) ファイルを読みます。
3. [Install INF and ICM Files] (INFおよびICMファイルのインストール) を選択します。
4. 画面の説明に沿って操作します。
5. .INF ソフトウェアがインストールされたら、Windows を再起動します。
6. Windows の[画面のプロパティ]に適切な解像度およびリフレッシュレートが表示されていることを確認します。



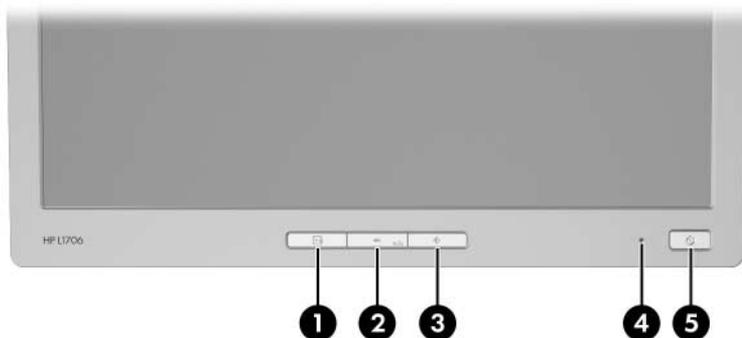
インストール時にエラーが発生した場合は、デジタル署名されているモニタの.INFおよび.ICMファイルを手動でインストールする必要があります。CDの[INF and ICM Readme]ファイルを参照してください。

Webサイトからのダウンロード

最新のバージョンの.INFおよび.ICMファイルをHP モニタ サポート Web サイトからダウンロードするには、以下の手順で操作します。

1. <http://www.hp.com/support/>にアクセスし、国または地域を選択します。
2. [ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]を選択してお使いの製品名などを[検索対象]ボックスに入力し、[>>]ボタンをクリックしてサポート ページおよびダウンロード ページへのリンクをクリックします。
3. システムがインストール要件を満たしていることを確認します。
4. 画面の説明に沿って、ソフトウェアをダウンロードします。

フロント パネルの各部



名称	機能
① メニュー	OSD (オンスクリーン ディスプレイ) メニューを表示したり、項目を選択したり、メニューを終了したりします
② - (マイナス ボタン)	<ul style="list-style-type: none"> メニューの項目間を逆方向に移動したり調整レベルを下げたりできます OSDメニューが表示されていないときに押すと、自動調整機能が有効になり画面表示を最適化できます
③ + (プラス ボタン)	メニューの項目間を順方向に移動したり調整レベルを上げたりできます
④ 電源ランプ	電源が入っている状態：緑色 スリープ モード：オレンジ色 スリープ タイマ モード：オレンジ色に点滅
⑤ 電源	モニタのオン/オフを切り替えます

モニタの設定の調整

オンスクリーンディスプレイ（OSD）を使用して、ユーザの好みに応じて画面表示を調整します。OSDにアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. モニタの電源が入っていない場合は、電源スイッチを押してモニタの電源を入れます。
2. OSDのメニューにアクセスするには、モニタのフロントパネルにあるメニューボタンを押します。



3. OSDメニュー内を移動するには、モニタのフロントパネルにある+（プラス）ボタンを押して上にスクロールするか、-（マイナス）ボタンを押して反対方向にスクロールします。
4. OSDメニューから項目を選択するには、+ボタンか-ボタンでスクロールして選択する項目を強調表示させ、メニューボタンを押して機能を選択します。
5. フロントパネルの+ボタンか-ボタンを押してスケールを調整します。

6. 機能を調整したら[Save and Return] (保存して戻る) を選択するか、設定を保存しない場合は[Cancel] (キャンセル) を選択し、[Main Menu] (メインメニュー) から[Exit] (終了) を選択します。



メニューが表示されているときに10秒以上ボタンを押さない場合、調整が無効になり、以前の設定に戻ってメニューが終了します。

オンスクリーン ディスプレイの使用

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューには2種類あり、1つでは基本的な調整を行い、もう1つでは拡張機能の調整を行います。

OSDの[Basic Menu] (基本メニュー) を表示するには、モニタのフロントパネルのメニュー ボタンを押します。

OSDの基本メニュー

メニュー レベル 1	メニュー レベル 2
Brightness (輝度)	調整用スケール
Contrast (コントラスト)	調整用スケール
Auto Adjustment (自動調整)	
Advanced Menu (拡張メニュー)	
Exit (終了)	

OSDの拡張メニューを表示するには、もう一度メニュー ボタンを押すか、OSDの[Basic Menu]から[Advanced Menu]を選択します。



[Basic Menu] から [Advanced Menu] を選択すると、モニタの起動時に [Advanced Menu] がデフォルトのOSDに設定されます。この設定は、[Basic Menu] を選択するか、モニタを工場出荷時の状態に戻すまで有効になります。

OSD（オンスクリーンディスプレイ）の拡張メニューには最大3つのサブレベルがあり、表示言語を6つの言語から選択できます。以下の表に、それぞれのレベルの機能を表示します。

OSDの拡張メニュー レベル			
レベル1	レベル2	レベル3	工場出荷時設定
Brightness（輝度）	調整用スケール		はい
Contrast （コントラスト）	調整用スケール		はい
Image Control （イメージ コントロール）	Auto Adjustment （自動調整）	調整中のメッセージ	はい
	Horizontal Position （水平表示位置）	調整用スケール	はい
	Vertical Position （垂直表示位置）	調整用スケール	はい
	Clock（クロック）	調整用スケール	はい
	Clock Phase （クロック フェーズ）	調整用スケール	はい
	Cancel（キャンセル）		
	Save and Return （保存して戻る）		
Color（色）	9300 K		
	6500 K		はい
	Custom Color （カスタム カラー）	Custom Color Adjustment （カスタム カラー調整）	
	sRGB		
	Cancel（キャンセル）		
	Save and Return （保存して戻る）		

OSDの拡張メニュー レベル（続き）

レベル1	レベル2	レベル3	工場出荷時設定
Language（言語）	Deutsch（ドイツ語）		
	English（英語）		いいえ
	Espanol（スペイン語）		
	Francais（フランス語）		
	Italiano（イタリア語）		
	Nederlands （オランダ語）		
	Simplified Chinese （簡体字中国語）		
	Cancel（キャンセル）		
	Save and Return （保存して戻る）		
Management （マネジメント）	Power Saver （省電力）	On（オン） Off（オフ）	いいえ
	Power On Recall （再開時に電源オン）	On（オン） Off（オフ）	いいえ
	Mode Display （モード表示）	On（オン） Off（オフ）	いいえ
	Power-On Status Display （電源オンの ステータス表示）	On（オン） Off（オフ）	いいえ
	Sleep Timer （スリープ タイマ）	Timer Setting Menu （タイマ用設定 メニュー）	いいえ
	Serial Number （シリアル番号）	モニタのシリアル番号 を表示	
	Basic Menu （基本メニュー）		
	Cancel（キャンセル）		
Save and Return （保存して戻る）			

OSDの拡張メニュー レベル（続き）

レベル1	レベル2	レベル3	工場出荷時設定
OSD Control (OSDコントロール)	Horizontal Position (水平表示位置)	調整用スケール	いいえ
	Vertical Position (垂直表示位置)	調整用スケール	いいえ
	OSD Timeout (OSDタイムアウト)	調整用スケール	いいえ
	Cancel (キャンセル)		
	Save and Return (保存して戻る)		
Information (情報)			
Factory Reset (出荷時設定に リセット)	Yes (はい)		
	No (いいえ)		
Exit (終了)			

画質の調節

画質を調整する場合は、モニタの電源を入れてから20分間のウォームアップ時間を取り、画像が安定した状態で以下の手順で操作してください。

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの[Auto Adjustment] (自動調整) 機能を使用すると、新しいビデオモードが表示されるたびに自動的に画質が調整されます。さらに画質の調整を行う必要がある場合は、付属のCDに収録されている自動調整用のソフトウェアを実行し、モニタのフロントパネルの- (マイナス) ボタンを押して手動で自動調整機能を有効にします。

より正確に調整するには、CDに収録されている調整用パターンを実行し、OSDメニューからアクセスする[Clock] (クロック) および[Clock Phase] (クロック フェーズ) 機能を使用して次の節の説明に従って調整します。

デジタル コンバージョンの最適化

このモニタには、フラットパネルの最新の回路が搭載されており、標準のモニタと同じような機能を備えています。OSDメニューの[Clock]（クロック）および[Clock Phase]（クロック フェーズ）を調節して、画質を向上させることができます。自動調整機能を使用しても希望する画質が得られない場合にのみこれらの機能を使用してください。



[Clock Phase]の設定は[Clock]の設定に影響されるので、最初に[Clock]を正しく設定しておきます。

■ [Clock]：画面に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。

■ [Clock Phase]：画像の歪みまたはぶれを最小限に抑えます。



これらの調整を行う場合は、自動調整用のソフトウェアを使用すると最適な結果が得られます。



[Clock]および[Clock Phase]の設定値を調整しているときにモニタの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。工場出荷時の設定に戻すには、OSDメニューの[Factory Reset]（出荷時設定にリセット）から[Yes]（はい）を選択します。

モニタの状態の確認

モニタが以下の状態になると、特別なメッセージがモニタ画面に表示されます。

- **Input Signal Out of Range** : 解像度およびリフレッシュ レートがモニタでサポートされる範囲より高く設定されているため、モニタが入力信号をサポートできないことを示します。15インチ モニタでは解像度を1024×768、リフレッシュ レートを60 Hzに設定します。17インチおよび19インチ モニタでは解像度を1280×1024、リフレッシュ レートを60 Hzに設定します。コンピュータを再起動すると、新しい設定が有効になります。
- **Monitor Going to Sleep** : モニタがスリープ モードになることを示します。
- **Check Video Cable** : ビデオ ケーブルがコンピュータに正しく接続されていないことを示します。
- **OSD Lock** : フロント パネルにあるメニュー ボタンを10秒間押し続けると、オンスクリーンディスプレイ (OSD) を有効または無効にすることができます。OSDをロックすると、[OSD Lock] (OSDのロック) という警告メッセージが10秒間表示されます。
 - OSDがロックされている場合、ロックを解除するにはメニュー ボタンを10秒間押し続けます。
 - OSDのロックが解除されている場合、ロックするにはメニュー ボタンを10秒間押し続けます。

スリープ タイマ モード

スリープ タイマ モードは、毎日同じ時刻にモニタの電源を入れたり切ったりするように設定できる省電力機能です。この省電力機能を使用すると、モニタのバックライトの寿命を延ばすことができます。スリープ タイマ モードには5つの設定があります。

- **Set Current Time** (現在時刻の設定)

- Set Sleep Time（電源オフの時刻の設定）
- Set On Time（電源オンの時刻の設定）
- Timer: On/Off（タイマ：オン/オフ）
- Sleep Now（スリープモードの実行）

タイマを設定するには、以下の手順で操作します。

1. モニタのフロントパネルのメニューボタンを押してメニューレベル1を表示します。[Basic Menu]（基本メニュー）が表示されている場合は手順2に、[Advanced Menu]（拡張メニュー）が表示されている場合は手順3に進みます。
2. メニューを下に移動して[Management]（マネジメント）を強調表示します。
3. メニューボタンを押して[Management]を選択します。
4. メニューを下に移動して[Sleep Timer]（スリープタイマ）、[Set Current Time]（現在の時刻の設定）の順に強調表示し、選択します。



必ず現在の時刻をあらかじめ設定しておいてから[Sleep Time]（電源オフの時刻）や[ON Time]（電源オンの時刻）を設定してください。時刻は24時間単位で表示されます。たとえば、午後1時15分は13時15分と表示されます。

5. メニューボタンを一度押すと、調整モードとなり、時間が点滅します。
6. -（マイナス）ボタンおよび+（プラス）ボタンを使って時間を設定します。
7. メニューボタンを再度押すと、分が点滅します。
8. -（マイナス）ボタンおよび+（プラス）ボタンを使って分を設定します。
9. メニューボタンを押すと、設定した時刻が確定します。
10. 現在時刻を設定すると、自動的に[Set Sleep Time]（電源オフの時刻の設定）へスキップし、時間が強調表示され点滅します。手順6～9を繰り返し行って電源オフの時刻を調整します。

11. 電源オフの時刻を設定しない場合は、メニュー ボタンを2回押し、**[Save and Return]**（保存して戻る）を選択してメニューを終了します。
12. 電源オフの時刻を設定すると、自動的に**[Set On Time]**（電源オンの時刻の設定）へスキップし、時間が強調表示され点滅します。手順6～9を繰り返し行って電源オンの時刻を調整します。
13. **[Timer]**（タイマ）のモードを**[ON]**（オン）に設定し、スリープタイマの設定を起動します。
14. 設定が完了したら、**[Save and Return]**を押してメニューを終了します。

5番目の選択項目**[Sleep Now]**（スリープモードの実行）を選択すると、モニタのバックライトがオフになり、スリープモードになります。設定した電源オンの時刻になるか、またはモニタ ボタンを押すと、電源がオンになります。

HP Display LiteSaver（一部のモデルのみ）

HP Display LiteSaverは、モニタの寿命を延ばし、省電力を実現するためのソフトウェアアプリケーションで、付属のCDに収録されています。このソフトウェアを使用すると、大部分の内部回路への電源供給を停止または供給量を削減することによって、あらかじめ設定した時間にモニタを省電力スリープモードに移行できます。これは、画像の焼き付きからLCDパネルを保護するために役立ちます。画像の焼き付きは、モニタに長時間同じ画像を表示したまま放置しておいたときに、画面上に残像が形成されて発生します。

HP Display LiteSaverソフトウェアのインストール

1. CDをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。CDのメニューが表示されます。
2. **[HP Display LiteSaverソフトウェアのインストール]**を選択します。

3. ソフトウェアがインストールされたら、Windowsシステム トレイの [HP Display LiteSaver] アイコンをクリックするか、またはアイコンを右クリックしてポップアップメニューから [Configure...] (設定...) を選択します。
4. 以下のオプションを選択して、HP Display LiteSaverの機能を設定します。

設定オプション	機能
Enable Display LiteSaver (Display LiteSaverの有効化)	HP Display LiteSaverの機能を有効にします。HP Display LiteSaverを無効にするには、選択を解除します
Display Off (ディスプレイの電源切断)	モニタの電源を自動的に切る時間を設定します。このオプションは、スクリーンセーバの動作には影響しません。HP Display LiteSaverよりスクリーンセーバの方が優先されます
Display On (ディスプレイの電源投入)	モニタの電源を自動的に入れる時間を設定します。このオプションは、スクリーンセーバの動作には影響しません。HP Display LiteSaverよりスクリーンセーバの方が優先されます
Activity Extension (動作延長)	Display Off時間に達した後で何らかのキーボードまたはマウス操作が行われた場合に、モニタの電源を切るまでの時間を分単位で設定します。キーボードまたはマウスが使用されている場合は、再度モニタの電源を切る前に、HP Display LiteSaverは設定された時間が経過するまで待機します。このオプションを無効にするには、0を設定します。このオプションが無効になっていると、キーボードまたはマウス操作には関係なく、Display Off時間に達するとすぐにモニタの電源が切れます
Show 1 minute Display Off Notice (ディスプレイの電源切断1分前に通知を表示)	HP Display LiteSaverによりモニタの電源が切れる1分前に、システムトレイにポップアップメッセージを表示します

設定オプション	機能
Status (ステータス)	HP Display LiteSaverにより次にモニタの電源が切れるまでの時間を表示します
OK	現在の設定を保存し、HP Display LiteSaverをシステムトレイに最小化します
Cancel (キャンセル)	以前の設定に戻し、HP Display LiteSaverをシステムトレイに最小化します。HP Display LiteSaverは引き続き作動します
Help (ヘルプ)	ヘルプ ファイルを開きます
Exit (終了)	HP Display LiteSaverを終了します。次に起動されるまで、モニタ電源の制御は行われません

HP Display LiteSaverの設定方法について詳しくは、CDに収録されている [HP Display LiteSaverのReadme]を参照してください。

sRGBのサポート（一部のモデルのみ）

お使いのモニタは、色管理の技術としてsRGBをサポートするように設計されています。sRGBはイメージテクノロジー業界で使用される色の規格に準拠しています。sRGBについて詳しくは、<http://www.srgb.com/srgb.html>（英語版のみ）を参照してください。

sRGBのサポートを活用するには、モニタの色温度をsRGBに変更し、sRGBカラープロファイル（ICM）のファイルをインストールする必要があります。



色温度を内蔵のsRGBに設定するとコンピュータのモニタに表示されるsRGB画像の色の精度が向上しますが、それでも色が正しく再現されない場合があります。

色温度の変更

1. モニタのフロント パネルにあるメニュー ボタンを押して、OSDの [Main Menu] (メインメニュー) を表示します。
2. [Advanced Menu] (拡張メニュー) を選択して、[Main Menu]内のすべてのオプションを表示します。
3. [Color] (色) を選択して、[Color Temperature] (色温度) メニューを表示します。
4. [sRGB]を選択します。
5. [Save and Return] (保存して戻る) を選択してメニューを終了します。

Microsoft Windows 2000およびWindows XPへのsRGB ICMファイルのインストール



以下の手順を完了するには、管理者または管理者グループのメンバーとしてログインしている必要があります。コンピュータがネットワークに接続されている場合、ネットワーク ポリシーの設定によりこの手順を完了できないことがあります。

sRGB ICMファイルは、Windows 95およびWindows NT[®]ではサポートされていません。

1. [コントロール パネル]の[画面]アイコンをクリックします。
2. [画面のプロパティ]ウィンドウで、[設定]タブを選択して[詳細] (Windows XPでは[詳細設定]) ボタンをクリックします。
3. [色の管理]タブを選択してから、[追加]ボタンをクリックして[プロファイルの関連付けを追加]ダイアログ ボックスを開きます。
4. [sRGB Color Space Profile.icm]ファイルを選択して、[追加]ボタンをクリックします。
5. お使いのモニタ用のカラー プロファイルをアクティブにするには、デフォルトのモニタ プロファイルとして設定する必要があります。[sRGB Color Space Profile]を選択して、[既定値に設定]をクリックします。
6. [適用]または[OK]をクリックします。

トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	原因	解決方法
画面に何も表示されな い	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	モニタのフロント パネルに ある電源スイッチがオフに なっている	フロント パネルの電源ボタンを 押します
	モニタのリア パネルにある 主電源スイッチがオフに なっている	主電源スイッチをオンにします
	ビデオ ケーブルが正しく接 続されていない	ビデオ ケーブルを正しく接続し ます。詳しくは「 第3章 モニタの セットアップ 」を参照してくださ い
	画面表示を消すユーティリ ティが有効になっている	キーボードの任意のキーを押す かマウスを動かして、画面表示を 消すユーティリティを無効にし ます
画像がぼやけている、不 鮮明、または暗すぎる	輝度およびコントラストの 設定が低すぎる	モニタのフロント パネルの自動 調整用ボタンを押します。それ でも画質が改善されない場合は、メ ニュー ボタンを押してOSDの基 本メニューを開き、必要に応じて 輝度およびコントラストのス ケールを調整します

トラブル	原因	解決方法
画像が中央に表示されない	位置を調整する必要がある	メニュー ボタンを押してOSDメニューを表示します。[Image Control](イメージコントロール)の[Horizontal Position](水平表示位置)または[Vertical Position](垂直表示位置)を選択して、画像の水平位置または垂直位置を調整します
[No Connection, Check Signal Cable]と画面に表示される	モニタのビデオ ケーブルが外れている	15ピン モニタ ビデオ ケーブルまたはVGA - DVI-IケーブルをコンピュータのVGAコネクタに接続するか、DVI-Dビデオ ケーブルをコンピュータのDVIコネクタに接続します。ビデオ ケーブルを接続するときにコンピュータの電源がオフになっていることを確認してください
[Out of Range. Set Monitor to 1280 x 1024@60Hz]と画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニタがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	コンピュータを再起動し、Safeモードに入ります。設定値をサポートされている設定値に変更します(付録Bの「工場出荷時のプリセット ディスプレイ モード」の表を参照)。コンピュータを再起動し、新しい設定値を有効にします

トラブル	原因	解決方法
HP Display LiteSaverを使用してモニタの電源が切れない	Activity Extension（動作延長）時間が経過していない	<p>デフォルトのActivity Extension値は10分に設定されています。HP Display LiteSaverは、モニタを省電力モードに移行する前に、Display Off（ディスプレイの電源切断）時間に達した後もキーボードからの入力やマウスの移動が連続して10分間検出されない状態になるまで待機します。たとえば、Display Off時間が現在の時刻から5分後に設定され、Activity Extensionが10分に設定されている場合は、Display Off時間が現在の時刻から5分後であっても、無操作のまま10分経過するまで実際にモニタの電源は切れません</p>
	<p>HP Display LiteSaverが、お使いのコンピュータシステムに対応していない可能性がある</p> <p>一部のノートブックコンピュータは対応しておらず、モニタ電源を制御できない</p>	<p>HP Display LiteSaverが、使用されているシステムに対応していることを確認します</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. システムトレイの[HP Display LiteSaver]アイコンを右クリックします 2. メニューから[Power Off Display]（ディスプレイの電源切断）を選択します <p>システムに対応している場合は、モニタ画面の電源が切れます。モニタの電源を再び入れるには、5秒待ってからマウスを動かします</p> <p> モニタの電源が切れなかった場合、お使いのコンピュータのグラフィックドライバはHP Display LiteSaverソフトウェアに対応していません</p>
モニタの電源は切れるが、省電力スリープモードには移行していないように見える	モニタの省電力機能が無効になっている	<p>モニタのOSDメニュー設定で、省電力機能の有効/無効を確認します。モニタを省電力モードに移行するには、この機能が有効に設定されている必要があります</p>

インターネットWebサイト

テクニカルサポート情報、ユーザ自身によるトラブル解決に役立つツール、オンラインサポート、IT専門家のコミュニティ フォーラム、マルチベンダによる広範囲の知識ベース、監視および診断用ツールについては、<http://www.hp.com/support/>にアクセスして参照してください。

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目を参照しても問題が解決しない場合は、テクニカルサポートをご利用ください。テクニカルサポートをご利用いただく際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニタ
- モニタのモデル番号
- モニタのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアとソフトウェアの種類

技術仕様



すべての動作仕様はコンポーネントの製造元から提供されています。動作仕様とは、HPのコンポーネントの製造元すべての、通常のレベルの動作仕様のうち最も高い仕様を表します。このため、実際の動作レベルとは異なる場合があります。

1506フラット パネル モニタ

ディスプレイ タイプ	15型 (38.1 cm) TFT LCD
表示可能画像サイズ	15インチ (38.1 cm) (対角方向)
傾斜角度	-5~30°
最大質量 (非梱包時)	3.2 kg (非梱包時)
寸法 (モニタ台を含む)	
高さ	355 mm
奥行き	203 mm
幅	340 mm
最大グラフィクス解像度	1024 × 768 (60 Hz)
テキスト モード	720 × 400
ドット ピッチ	0.297 (縦) × 0.297 (横) mm
水平周波数	30~63 kHz
垂直周波数	50~76 Hz

1506フラット パネル モニタ（続き）

環境条件

動作保証温度：

動作時	5～35℃
非動作時	-20～+60℃

相対湿度 20～80 %

電源 100～240 VAC、50/60 Hz

動作保証高度：

動作時	0～3657.6 m
非動作時	0～12192 m

消費電力 23 W未満

入力端子 15ピンD-Subコネクタ（ケーブル付き）

1706フラット パネル モニタ

ディスプレイタイプ	17型 (43.2 cm) TFT LCD
表示可能画像サイズ	17インチ (43.2 cm) (対角方向)
傾斜角度	-5~30°
最大質量 (非梱包時)	4.6 kg (非梱包時)
寸法 (モニタ台を含む)	
高さ	395 mm
奥行き	203 mm
幅	375 mm
最大グラフィクス解像度	1280×1024 (60 Hz)
テキスト モード	720×400
ドット ピッチ	0.264 (縦) × 0.264 (横) mm
水平周波数	30~83 kHz
垂直周波数	50~76 Hz
環境条件	
動作保証温度 :	
動作時	5~35°C
非動作時	-20~+60°C
相対湿度	20~80 %
電源	100~240 VAC、50/60 Hz
動作保証高度 :	
動作時	0~3657.6 m
非動作時	0~12192 m
消費電力	50 W未満
入力端子	15ピンD-Subコネクタ (ケーブル付き)

1906フラット パネル モニタ

ディスプレイタイプ	19型 (48.3 cm) TFT LCD
表示可能画像サイズ	19インチ (48.3 cm) (対角方向)
傾斜角度	-5~30°
最大質量 (非梱包時)	5.3 kg (非梱包時)
寸法 (モニタ台を含む)	
高さ	427 mm
奥行き	203 mm
幅	422 mm
最大グラフィクス解像度	1280×1024 (60 Hz)
テキスト モード	720×400
ドット ピッチ	0.294 (縦) × 0.294 (横) mm
水平周波数	30~83 kHz
垂直周波数	50~76 Hz
環境条件	
動作保証温度 :	
動作時	5~35°C
非動作時	-20~+60°C
相対湿度	20~80 %
電源	100~240 VAC、50/60 Hz
動作保証高度 :	
動作時	0~3657.6 m
非動作時	0~12192 m
消費電力	55 W未満
入力端子	15ピンD-Subコネクタ (ケーブル付き)

プリセット ディスプレイ解像度について

次の表に示すディスプレイ解像度はこのモニタで使用される最も標準的なもので、デフォルトとして設定されています。モニタによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

工場出荷時のプリセット ディスプレイ モード

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.5	59.9
2	640×480	37.9	72.8
3	640×480	37.5	75.0
4	720×400	31.5	70.1
5	800×600	37.9	60.3
6	800×600	48.1	72.2
7	800×600	46.9	75.0
8	832×624	49.7	74.6
9	1024×768	48.4	60.0
10	1024×768	56.5	70.1
11	1024×768	60.0	75.0
12	1152×870	68.7	75.1
13	1152×900	71.7	76.1
14	1280×1024	64.0	60.0
15	1280×1024	80.0	75.0

* モード12、13、14、および15は1706および1906モデルにのみ適用されます。

ユーザ モードの使用

次のような場合、ビデオ コントローラから送られてくる信号がプリセット モードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックス アダプタを使用していない場合
- 標準グラフィックス アダプタを使用しているがプリセット モードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーン ディスプレイ メニューでモニタのパラメータを再調整する必要がある場合があります。変更はどのモードにも適用でき、メモリに保存されます。モニタには新しい設定が自動的に保存され、これらのモードはプリセット モードと同様に自動的に認識されます。15のプリセット モードの他に、新たに4つのユーザ モードを登録して保存することができます。

エネルギー セーブ機能

モニタが通常の動作モードのときは、モニタの消費電力が40 W未満になり、電源ランプが緑色に点灯します。

このモニタでは、省電力状態もサポートされます。水平同期信号と垂直同期信号の一方または両方が検出されない場合、モニタは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニタの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。モニタが省電力状態になると、2 W未満の電力しか消費されません。短時間のウォームアップ後に通常の動作モードに戻ります。

エネルギー セーブ機能の設定の手順については、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください（エネルギー セーブ機能は、省電力機能、パワー マネージメント機能、節電機能など、マニュアルにより名称が異なる場合があります）。



モニタのエネルギー セーブ機能は、エネルギー セーブ機能を備えたコンピュータに接続されている場合にのみ有効です。

モニタのエネルギー セーブユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニタが省電力状態になるように設定することもできます。モニタのエネルギー セーブユーティリティによってモニタが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色に点滅します。

規定に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

各国別勧告

以下に日本以外の国や地域での規定を掲載します。ただし、一般的な注意事項などに関しては、日本語で記載しています。

Federal Communications Commission Notice

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.

- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo (United States Only)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding your product, contact:

Hewlett Packard Company
P. O. Box 692000, Mail Stop 530113
Houston, Texas 77269-2000

Or, call 1-800-HP-INVENT (1-800 474-6836)

For questions regarding this FCC declaration, contact:

Hewlett Packard Company
P. O. Box 692000, Mail Stop 510101
Houston, Texas 77269-2000

Or, call (281) 514-3333

To identify this product, refer to the Part, Series, or Model number found on the product.

有害物質の廃棄

このHP製品には、廃棄の際に特別な処理を必要とする以下の物質が含まれています。

- 液晶ディスプレイの蛍光ランプに含まれる水銀
- はんだおよび一部の部品に含まれる鉛

これらの物質の廃棄には環境保護のための規定が設けられている場合があります。廃棄またはリサイクルについての情報は、お住まいの地域の自治体またはEIA（Electronic Industry Alliance）（<http://www.eiae.org/>）にお問い合わせください。

Canadian Notice

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Avis Canadien

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Union Regulatory Notice

This product complies with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 73/23/EEC
- EMC Directive 89/336/EEC

Compliance with these directives implies conformity to applicable harmonized European standards (European Norms) which are listed on the EU Declaration of Conformity issued by Hewlett-Packard for this product or product family.

This compliance is indicated by the following conformity marking placed on the product:



This marking is valid for non-Telecom products and EU harmonized Telecom products (e.g. Bluetooth).



This marking is valid for EU non-harmonized Telecom products.
*Notified body number (used only if applicable - refer to the product label)

Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union



This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your other household waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling of waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Korean Notice

B급 기기 (가정용 정보통신기기)

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서
주거지역에서는 물론 모든지역에서 사용할 수 있습니다.

国際エネルギー スター プログラム

弊社は、国際エネルギー スター プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー スター プログラムの基準に適合していると判断します。このプログラムは、家庭、オフィス、工場などで使用する装置のエネルギー効率を向上させることで、省エネルギー/省資源を促進するとともに大気汚染を防止することを目的として実施されたものです。このため、HPの製品には、エネルギー消費を削減するなどの省電力機能が搭載されています。

電源コードの要件

このモニタの電源には自動ライン電圧切替機能（ALS）が付属しています。この機能によって、モニタは100～120 Vまたは200～240 VのAC電圧で動作します。

このモニタに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品取締法または電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧と電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。また、ワイヤの直径は $0.75 \text{ mm}^2/18 \text{ AWG}$ 以上、長さは1.8～3.6 mでなければなりません。使用する電源コードの種類については、HPのサポート窓口までお問い合わせください。

電源コードの上には物を置かないでください。また、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクタの取扱いにも注意して配線してください。

日本国内での電源コードの要件

この製品を日本国内で使用する場合は、製品に同梱されていた電源コードのみをお使いください。



注意: 同梱されていた電源コードを、他の製品で使用しないでください。

LCDモニタの品質および ピクセルに関する方針

このTFTモニタは、トラブルが発生しない高い性能を保証するために、高精度の技術を使用し、HPの製造基準に基づいて製造されています。それでもなお、ディスプレイに小さな輝点、暗点、または黒点が現れるという外見上の欠陥が発生する場合があります。これはどのメーカーから提供されるLCDディスプレイにも共通するもので、HP製のLCDに特有の問題ではありません。1つ以上のピクセルまたはサブピクセルに欠陥がある場合、この問題が発生します。

- 1ピクセルは、赤、緑、青のサブピクセル1つずつから成ります。
- 欠陥のあるピクセル全体は常に点灯している（暗い画面に輝点が表示される）か、常に消灯しています（明るい画面に暗点が表示される）。点灯しているピクセルは、よりはっきりと確認できます。
- 欠陥のあるサブピクセル（欠陥ドット）は、欠陥のあるピクセル全体より見えにくく、小さいため特定の画面背景上でのみ確認できません。

HP製のディスプレイに見られる欠陥は、最大でも次のとおりです。

- 3つの輝点
- 5つの暗点
- 合計5つの輝点と暗点
- 最大2つの、隣接する欠陥のあるピクセル（全体の幅が2.5 mm未満）

欠陥のあるピクセルを確認するには、モニタを通常の動作環境、通常の動作モード、およびサポートされる解像度とリフレッシュレートで使用し、画面から50 cmほど離れた位置で見ます。

業界での技術改良が進み、外見上の欠陥が少ないLCDが生産されるようになることが期待されます。HPでは、製品の改良に合わせてガイドラインを調整していく予定です。